

第1回 学校自己評価アンケートの報告と今後の取り組みについて

秋涼の候、皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、「第1回 学校評価アンケート」の報告と今後の取組について、下記のように結果がまとまりましたのでお知らせいたします。アンケートの結果を受け、さらに子どもたちのために努力して参ります。

今後とも、本校の教育活動にご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

学校評価アンケートの結果と今後の取り組み ～「できている」「ほぼできている」の割合をもとに～

1 学習面

○授業が分かるように努力している	児童…94%	職員…90%
○すすんで家庭学習に取り組んでいる	児童…88%	職員…90%
○先生や友だちの話をよく聞いている	児童…94%	職員…84%

<考察と今後の取り組み>

全校の多くの子どもが学習に対し意欲をもっていることがうかがえます。しかし、学習内容の習得・定着については、今後も課題となる部分が見られます。6年生の全国学力調査では、全国平均を下回っている部分も見られました。今後、子どもにとって魅力的でわかりやすい授業に向けて、視覚的支援・具体的支援・肯定的支援を視点を、考え合う楽しさを味わうことのできる学習環境づくりに、取り組んでまいります。また、Chromebookを使った学習も3年目となり、各授業での活用が進んでいます。今後もICTの活用を充実させながら、子どもの主体的な学習に向けて取り組んでいきます。

2 生活面

○学校生活を楽しんでいる	児童…92%	職員…85%
○すすんであいさつをしている	児童…85%	職員…80%
○友だちのよいところを見つけ仲良く生活している	児童…92%	職員…95%
○すすんで体を動かし運動している	児童…86%	職員…80%
○時間いっぱいそうじに取り組んでいる	児童…93%	職員…80%
○規則正しい生活をしている	児童…76%	職員…79%

<考察と今後の取り組み>

愉しくけじめのある学校生活づくりに向けて、「笑顔のあいさつ・返事・靴そろえ・腰骨を立てる」を習慣化することを目指しています。あいさつの声は以前よりもよく聞かれるようになりました。自分からすすんであいさつをするという点が今後の課題です。あいさつの良さを感じられるよう、児童会でのあいさつに関わる活動の充実を図り、自分からあいさつができるようにしていきたいです。異年齢や西内小学校との交流活動を通し、子ども同士が学び合ったり温かい言葉を掛け合ったりする姿が多く見られるようになってきています。また、地域の皆様にも支えていただきながら、地域の文化や人を知る活動も充実してきていることが、「学校生活を楽しんでいる」ことにつながっているのではないかと思います。今後も、「明日を創る子どもが育つ笑顔かがやく楽しい学校」づくりを目指していきたいです。

3 ご家庭へのお願い

あいさつはここ数年の本校の課題ですが、徐々に改善してきていることがうかがえます。ご家庭でも取り組んでいただければ幸いです。また、夜遅くまでパソコンやゲーム等をするなど、規則正しい生活を送ることに課題をもっている子どもも見られます。メディアコントロールについて、ご家庭でもお子さんと話し合ってください。規則正しい生活を送ることができるようにご協力をいただければと思います。

今後も、子どもたちが楽しくよりよい学校生活を送れるよう、職員一丸となって教育活動に取り組んでまいります。なお、集計結果は、丸子中央小学校HPにも掲載いたします。他のニュースと併せてどうぞご覧ください。

なお、10月には、保護者の皆様にもアンケートにご協力いただければと思います。今後ともよろしくお願い申し上げます。

上田市立丸子中央小学校
 教頭 磯尾 智子
 担当 鮫島 光太郎
 電話 42-2112